

Tokyo 2020 事前トレーニング(キャンプ)候補地の  
技術要件の適合確認の手続きについて

1. 背景

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、同組織委員会が作成する公式ガイドに掲載する「Tokyo 2020 事前トレーニング(キャンプ)候補地」の募集を、全国の地方自治体(市区町村)に対して開始した。本件に関して、JFA は、同組織委員会より、サッカーのキャンプ候補地の技術要件の適合確認を行うことの依頼を受けている。

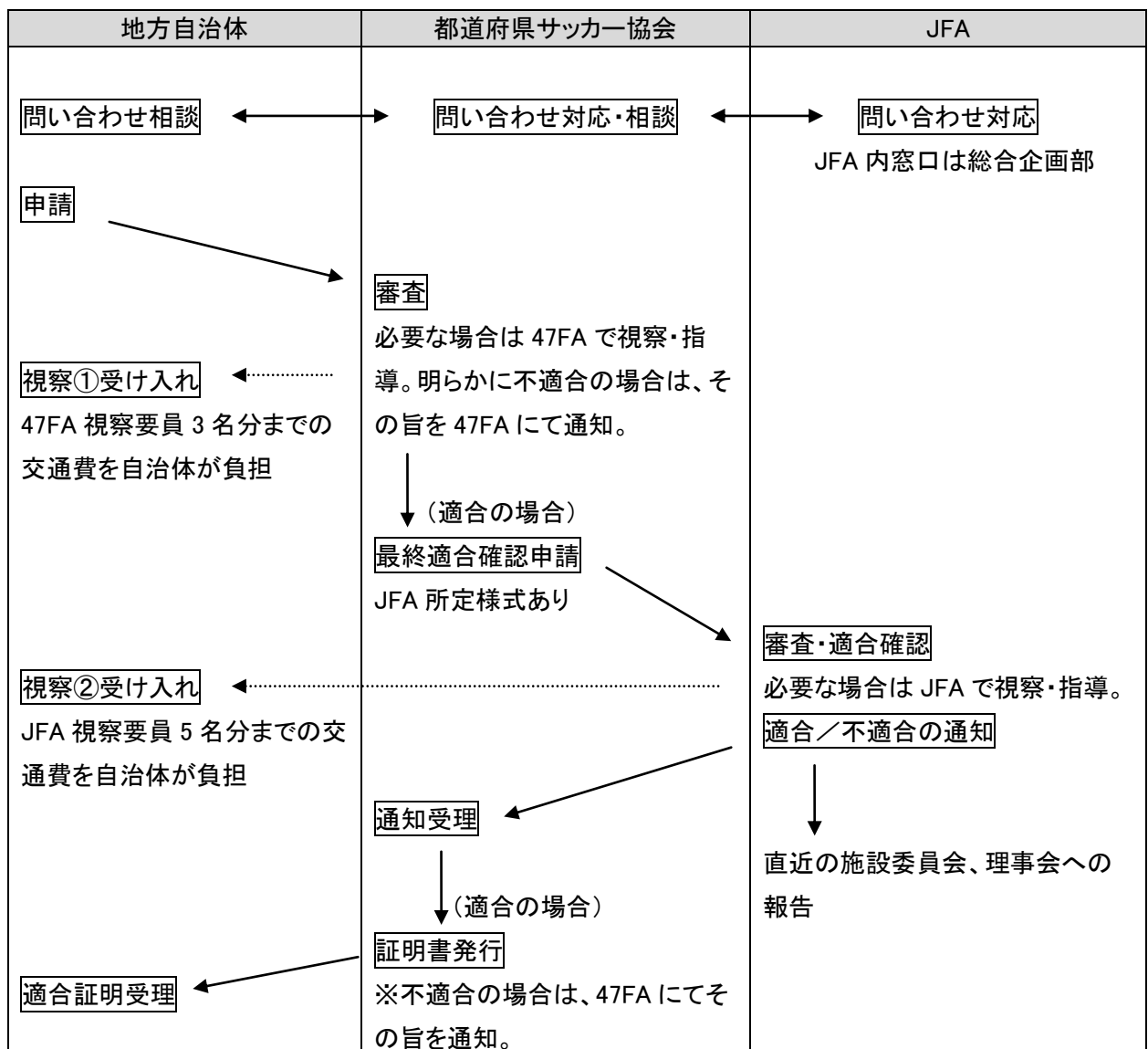
2. 技術要件の適合確認の期間

2015年4月1日～2018年7月31日

3. JFA 内での「審査・適合確認」の方法(案)

JFA 内での「審査・適合確認」は、(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が策定した技術要件(別紙参照)に基づき、総合企画部が一次審査を行い、事務局長の決裁を求める。総合企画部は、適合確認の事務局長決裁後、本協会理事会の報告事項とする。

4. 技術要件の適合確認の流れ(案)



以上

Tokyo 2020 事前トレーニング(キャンプ)候補地 ガイド(紹介リスト)掲載 応募要項(抜粋)  
 [公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会作成]

練習施設(会場)に係る要件

サッカー

IF 基準	
競技領域: Field of play	<p>FIFA の仕様に則っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 面辺り全長 108m×全幅 71m の良質な天然芝面を 2 面以上確保 (芝のコンディションを維持して練習するため、交互利用への対応が必要)</li> <li>・芝面は雨天時でも練習できるコンディションを保つための排水設備を整備</li> <li>・ピッチは長さ 105m×幅 68m で、ピッチ外側 4 方向に各 1.5m の芝面確保要</li> </ul>
競技用具・設備	<p>競技用具・設備 競技用具は FIFA の仕様に則っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインのマーキング、ゴールポスト、ネット、コーナーフラッグポストなど</li> <li>※固定式ゴール 1 組(2 個)に加え、可動式ゴール 1 組が必要</li> <li>・少なくとも 1 面は夜間トレーニングが可能な照明設備を設置</li> <li>※照度はフィールド内平均で 500lux 以上</li> <li>・避雷針が設置されていること</li> </ul>
サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドに隣接したシャワーと脱衣所付き更衣室並びにトイレ</li> <li>※更衣室内ロッカーは 2 チーム分(1 チーム 23 名編成原則のため)</li> <li>・更衣室内には 25 名分の椅子、又はベンチ、2 台のマッサージベッド、空調設備、冷蔵庫を備えた 60 ㎡以上の部屋が 2 部屋</li> <li>・シャワー室は各更衣室に付随して温水シャワーが 10 基以上</li> <li>・トイレは各更衣室に付随して洋式トイレが 4 個以上 (チーム用とは別にメディア関係者、一般利用者用のトイレが必要)</li> <li>・AED、担架(頭部頸部の固定可能担架を含む)</li> </ul>
推奨事項	
フィールド等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芝面はできるだけ隣接、又は同一施設内で確保すること</li> <li>※不可能な場合、宿泊施設からバス 15 分以内の距離の範囲内で 2 面を確保</li> </ul>
サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習場内に屋根付きエリア(テント、ハンギングパラソルなど)</li> <li>・ウエイト(フリーウエイト)トレーニング室 ※フィールドに近接</li> <li>・マッサージ及び理学療法室 ※氷の提供が容易にできること(製氷機など)</li> <li>・マルチメディア機器(撮影機器とプロジェクター)を備えた小会議室</li> <li>・チームの記者会見及びメディア関係者の作業スペース用の会議室</li> <li>※Wi-Fi 環境、高速インターネット、電源などの設備</li> <li>・悪天候時に練習が可能な屋内、又は屋根付きの施設 ※フィールドに近接 (ボールを蹴ることが可能で、バスケットコート 1 面以上の広さを推奨)</li> <li>・フィジカルトレーニング及びリハビリテーションのために利用可能なプール(ジェットバス付き)及びフィットネスマシン ※ フィールドに近接</li> </ul>
備考	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手団の利用期間中は専有使用が可能であること</li> <li>・早朝、夜間を問わず、使用時間帯に関する選手団の要望への柔軟な対応</li> <li>・選手団が希望するタイミングで芝生への散水が可能なこと</li> <li>・非公開練習への対応(ピッチへの視界を遮断)やセキュリティゾーンの対応 (許可された人以外の通行を遮断)が可能なこと</li> <li>※仮設備も含めて練習施設で準備(費用負担含め)できることが望ましい</li> <li>・選手団が大型バスを利用する場合、関係者用車両も含めて駐車できる駐車場</li> <li>※施設敷地内、又は近接地推奨。また、大型バスが練習施設の選手の更衣室入口付近まで通行できることが望ましい。</li> <li>・公開トレーニング時にメディア関係者及び一般観客の芝面への進入を規制するため、収容人数は問わないが観客席が設置されていることが望ましい。</li> </ul>
【特記事項】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●宿泊施設においても下記のような要望が発生する可能性あり</li> <li>・ベッドは大きめのサイズ(2m 超のサイズ)</li> <li>・スクール形式で 40 名程度が収容できるミーティングルームの確保</li> <li>・30 ㎡以上の選手団事務局(Wi-Fi 環境、高速インターネット、電源などの完備が望ましい)</li> <li>・ブッフェ形式で 40 名程度が着席で収容できるダイニングルーム</li> <li>・記者会見場 ※選手団に集まるメディア関係者の数によって必要な広さは異なる</li> <li>・マッサージルーム、リラクゼーションルーム、用具部屋等に利用するため、客室からベッドの撤去を要求されることもあり得る</li> <li>・宿泊に関する要求への柔軟な対応(施設全体、又は部分的な専有使用)※メディアや一般客の謝絶も可能性としてあり</li> <li>・飲食に関する要求への柔軟な対応(食事の質や量、宗教上での要求、帯同シェフによる調理:厨房の使用要求)</li> <li>・立地は練習施設(会場)からバス利用で 15 分以内の距離にあることが推奨される</li> </ul>	